

## I 札幌市医師会西区支部研修会(西区在宅ケア連絡会 260 回例会と合同開催)

日時：令和3年10月14日(木)18:30~20:00 場所：web開催

テーマ：「with コロナ時代において地域ケアを実践するための西区コンセンサス(仮称)を作ろう part2」

新型コロナウイルスが在る日常において多職種協働によるケアを継続して行くことが求められています。他の課題と同様に西区内のコンセンサス=合意づくりを求める声も寄せられ、札幌市医師会西区支部と共に西区在宅ケア連絡会の場において検討を始めたところです。

9月の259回では、新型コロナウイルス感染症の影響により、日常のケアや連携などにおいて困っていることや疑問を出していただきました。今回は、感染者・濃厚接触者の生活を支えるために実際にどのようなことを考える必要があるのか、モデル事例をもとに意見交換しました。

みんなで一緒に話し合い、住民の生活を支えるための“西区コンセンサス(仮称)”を作って行きましょう。

## &lt;モデル事例&gt;

- ・ 夫(要介護1) 90代 居宅介護支援事業所のケアマネジャーが担当
- ・ 妻(要支援2) 90代 地域包括支援センターのケアマネジャーが担当
- ・ 近くに住む60代の娘が週2回(火・金)訪問し、買物や調理の支援を行っている。
- ・ 掃除の支援にヘルパー利用。(水)
- ・ 夫は週2回(月・木)デイサービスで入浴。屋内で転倒を繰り返し歩行器のレンタル調整中。
- ・ ゴミ出しはさわやか収集(水)利用。
- ・ 娘が水曜日に発熱し、木曜日にPCR検査を行い、金曜日に陽性と妻のケアマネジャーに連絡が入った。夫婦が濃厚接触者になり、PCR検査の結果、夫は陰性。妻は陽性だが軽症。
- ・ 金曜日に娘が買物や調理をするはずだったが、入院してしまった。
- ・ 翌週には夫の受診があり、受診しないと薬がない。受診はいつも娘の車で行っていた。
- ・ 妻は杖歩行で簡単な物であれば調理できる。

## &lt;グループで検討したポイント&gt;

- ①関係機関への連絡をどうしますか？
- ②夫婦の生活、受診をどうしますか？

## ① ケアマネジャー同士が連携して各機関に連絡する

- ・ 夫婦にそれぞれのケアマネがいるが、妻のケアマネに陽性の連絡があった事から、妻のケアマネが夫のケアマネに連絡し、それぞれに使用しているサービス事業所へ連絡する事が望ましいのではないか？
- ・ 夫のケアマネ、妻のケアマネ、どちらが主になって動くかは決めておいた方が良い。
- ・ 妻のケアマネジャーが主となるが、負担が大きいので、夫のケアマネジャーと役割分担して行ったら良い。
- ★ケアマネが情報集約と発信の役割を負うべきというのは賛同するところだが、ケアマネジャーへの負担は相当なものになるのではないか。それについても配慮が必要ではないか。実際どう思っているか？
- 各サービス事業所などとの情報共有はケアマネの業務なので、業務内と考えている。
- ・ さわやか収集もゴミ袋受け渡し時の感染も有り得る、福祉用具業者、ヘルパーへの連絡も必要。
- ・ 夫はデイサービスを利用しており、利用先でも濃厚接触者の確認が必要だと思われるため、デイサービスへは早めに連絡をした方が良い。

→濃厚接触者の濃厚接触者という概念はないが、利用者を直接支援している娘及び同居家族が陽性になっている。本人も今後発症する可能性が高いため、連絡が必要。

## ★そもそも保健所から関係機関へ連絡されているか？

- ・ 保健所からどのような経緯でケアマネジャーに連絡が入るのかわからない。確認が必要。
- ・ 保健所から直接連絡がきたことがない →保健所がいつ誰に連絡しているのか、するのか
- ・ 保健所に感染の状況を確認したところ家族から聞いてくださいなどと言われた
- ・ 保健所からの連絡。別居の息子が感染、利用者さん濃厚接触→息子さんの奥様から連絡がきた。

② 優先事項を検討して対処する。食事が重要。受診が課題。

★食事:感染者へ届く食料はレトルトが多い。2週間レトルトで栄養を摂るのは厳しいのではないかな？

・保健所からお弁当が届いていない場合は？→フードバンク等に依頼して取りに行ける人を探し玄関まで届ける、民生委員の協力が可能か調べる

・配食サービスを利用出来ると栄養上良い。受取りは玄関フードに置いておくことではどうか。

・そもそも90代の二人が配達された物を受け取る事が出来るのかな？

※ 保健所からの電話連絡は平日のみ。電話対応できる者が自宅にいないと発送準備出来ない。発送も平日のみ。

○ヘルパー(掃除):ヘルパー事業所の判断で派遣できないと判断された場合。

・支援内容を切り替えて、娘が担っていた買い物ヘルパーが代わりに購入配達、または玄関先で受け渡しなど対応できないだろうか。

○デイサービス(お風呂):(質問:デイ以外で支援できる場所は？→HHS、訪問看護、訪問入浴)

・DSでお風呂提供している理由を再確認(介護レベル・自宅環境・ADL・レスパイト)。

・陽性になったとして10~14日間位は入らない選択肢もある。どうしてもというなら清拭という手法も有り得るか。

○福祉用具レンタル:(歩行器)状況からみて歩行器の必要性はあると思われる。

・調整中=正式契約まで至っていない。合いそうなものを搬入してもらい2週間程度のデモできるか業者と相談。

・本人世帯と電話でやり取りできるなら再選定、電話で担当者会議の道もあるか。

・自宅でも夫婦の隔離が必要→夫は転倒を繰り返し歩行器のレンタル調整中で独りにして大丈夫かな？

★受診について:かかりつけ医療機関に連絡をして電話対応などによる処方協力を得る必要がある

・医師の考え方次第かと思うが、家族が電話で状態を医師に相談し処方郵送で薬局に送る事で特例的に認められる。

・又はケアマネ経由でFAXやり取りという手もあるかも知れない。

○ケアマネジャーによる安否確認:毎日、安否確認する必要がある?どうする?役割分担する。

・安否確認は電話でいいか?訪問した方がいいか?

○ケアマネの力量によって、対応できていない事もあると思うのでチェックリストでチェック・確認するといいい。

○感染者への対応について、わからない事を気軽に相談できる所があればいい。

★様々な意見が出ているが、感染者が出た際の連絡方法については定められていないのが現状である。

そのために西区独自のコンセンサスが必要であり、こういう日頃の疑問や意見を元に決めていけるものである。

II 今後の予定(案)

○地域ケアに関する研修会「地域ケア推進会議から西区の課題を考える(案)」

11月11日(木) 18:30~ web開催(Hybrid形式で開催する方向で検討中です)

<西区在宅ケア連絡会260回例会との合同開催>

地域ケア会議は、高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備とを同時に進めていく、地域包括ケアシステムの実現に向けた手法と位置づけられています。

西区の地域ケア会議では、個別地域ケア会議や地区地域ケア会議での検討を通じ、住民の関心が高いのは認知症であることから、数年間にわたり認知症を主要なテーマとして取り上げ、令和元年度には西区地域ケア推進会議において住民向け認知症リーフレットを作成しました。昨年10月の支部研修会でリーフレットの活用について意見交換しましたので皆さんの記憶に新しいことと思われます。

令和3年2月と10月の地域ケア推進会議では、コロナ禍で住民の生活状況も変化中、地域の課題及び西区内の各地区の課題について改めて確認されました。今回の研修会では地域ケア推進会議の内容を報告いただき、課題を共有し、解決のために西区支部会員や地域の多職種が如何に協働していくことが出来るか意見交換します。